



オーストラリア直送レポート

Vol.6 2015.8.18 登校最終日

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
吉備中学校・田中

●パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場
金屋中学校・中

ドリップストーン校グループ

(林) 今日が、DS校に通う最終日です。初日は、不安や緊張した面持ちで登校してきた研修生達も、今ではすっかりDS校の生徒と笑顔で登校してきます。校外研修に、出発する間、研修生の会話を聞いていると「今日で学校終わりか〜」、「もっといろんな人と話したいな」などの声が聞こえてきました。そんな声を聞くと、本当に研修生がDS校生とコミュニケーションが取れている事や、研修生活が充実しているのだなと思いました。今日の校外研修は、ジャンピングクロ



コダイルと湿地帯見学です。研修先に向かうバスの中で、横に座った研修生がバスの中に標記されている、外気温や湿度の表示を見て「36度で湿度14%って書いてる。日本ってどれくらいなんやろ」と聞いてきました。私は、「日本のこの時期の湿度は、60~70%くらいかな」と答えると、「日本に帰ったら凄くベタベタするのかな」と言っていました。バスの中で、何気なく標記されて物を見て、疑問に感じて質問したり、日本との違いを感じるその研修生の姿勢に感心しました。また、別の研修生に「お土産は買ったの?」と聞くと、「おばあちゃんの分は買いました」と答えてくれました。続けて「他の家族の分は?」と聞くと「お父さんとお母さんが、日本を出発する時に私たちのお土産は良いから、自分のために使いなさい」と言われたと答えてくれました。この話を聞いて、本当に良い家族の方に育てられているんだと思うと同時に、残り数日の現地研修を無事に終わり研修生達をご家族の元に返さなければと思いました。色々な話を聞いているうちバスは、研修先の湿地帯に到着しました。研修先には、展望台があり地平線が一望出来ました。研修生は地平線を初めて見たようで、双眼鏡を使って見ていたり写真を撮っていました。

ジャンピングクロコダイルでは、アドレードリバーと言う川を船に乗りながら見学を行いました。大きなワニが目の前に現れると「怖い」や「思ったより大きい」などそれぞれの思いを口にしていました。地平線を見た時やクロコダイルを目の前で見た時も、研修生から「生でみると全然違う」との声が聞こえてきました。それこそが、この研修で感じてもらいたい1つである「生きた体験」であり、それをしっかり研修生1人1人が感じてくれているようでした。夕方からは、イーストポイントと呼ばれる海岸線のビーチで、ホストファミリーと過ごしました。イーストポイントは何キロにも及ぶビーチで、その広大なビーチに公園や広場があり、研修生達はホストファミリーとクリケットをしたり、公園で遊んだり、元気いっぱい、笑顔いっぱいのかげがえのない時間を過ごしていました。ホストファミリーの方々に、研修生の様子を聞くと、「みんな本当にいい子でかわいい子たち」と答えて頂きました。同じ日本人として嬉しくなりました。ホストファミリーとの楽しい時間は、あっという間に過ぎDS校校長のピーター先生からご挨拶をいただき、研修生達は1人1人修了書と記念品を頂きました。感極まって涙を流している研修生もいました。ビーチからホストファミリーと帰っていく研修生達の後ろ姿を見ながら、週末はホストファミリーと思う存分過ごして、元気に日曜日に空港にきて欲しいと思いました。



(田中) 今日の校外学習で、オーストラリアの広い大地を全員で感じる事が出来ました。雷などで木々が自然発火するブッシュファイヤーで燃えた後、広大な平地となった真ん中の展望台でした。思わず「わぁ！」とみんな声を上げました。それぞれの感想を、言葉にして話しかけてくれるようになっています。準備して下さったお弁当や心配りに対するTank youや、ふとした時のSorryが自然に出ている様に思います。言葉に出来なくても、笑顔が出せていると思います。



今日の夜、海辺りでホストファミリー4組のみなさんと、食事がありました。持ち寄って下さった食べ物とで楽しい一時、きれいな夕日も、みんなで見ました。本日で学校が終わり、出張でお忙しかった、校長先生も駆けつけて下さいました。生徒たちの態度が良く、オーストラリアの子たちとも仲良く交流が出来る事が素晴らしいとお話でした。とてもお互いに学べる機会だと言って下さり、今後もつなげていけたら、とても素晴らしいことだとあいさつ下さいました。涙を流しながら、修了の記念品を1人1人頂くのを見ると、彼らなりに頑張った証なんだと改めて思いました。本当に幸せな研修だったと思います。残り明日1日、ゆっくりホストファミリーに甘え、感謝できるようにして欲しいなと、ビーチで見送りました。

パーマストン校・ローズベリー校グループ

(松場) 8月18日 天気晴れ 毎日暑い日が続きます。今日は学校訪問最終日となりました。訪問先はパーマストンシニアカレッジ(以下PS校)。いつものように引率職員は7時15分にホテルを出発し7時45分に学校に到着、研修生達の到着を待ちます。8時過ぎに全員集合。それぞれの体調を確認した後、8時半から日本語の授業に参加。PS校生徒とペアになって、一人は目隠しをした状態の生徒を障害物を避けながら道案内するといった授業でした。はじめは研修生、PS校の生徒共に緊張した様子でしたが、徐々に声を大きく出し合う様子となりました。PS校生徒の中には、積極的な子どももありとても楽しめる授業となりました。2時限目はドラマの授業。PS校の生徒とともに出された、『アクシデント』『レスキュー』などのお題に対して共にアイデアを出し合いながら作りあげるといった授業でした。片言の英語ではありますが、身振り手振りでアイデアを出し合う様子からは、一生懸命さが伝わってきました。その後の休憩時間には、PS校の生徒が来てくれて、プレゼントの交換などもできました。滞在期間が短い事もあり、なかなか交流を持ってない研修生達でありましたが、積極的なPS校の生徒に助けられながら、貴重な体験ができました。英語のコミュニケーションが苦手な子どもは、休憩時間に積極的にスポーツに参加するなど自分の特技を通じて、PS校の生徒と交流をはかることができたように思います。最後に受けた数学の授業では積極的に手をあげて答えを言う姿がありました。間違いや失敗を恐れずに自分の意見を発表する姿からは、初日の不安そうな顔は薄れ、寧ろたくましさを感じる事ができました。今日の出来事で一番印象的だったのが、お別れパーティーの場面です。PS校の生徒達が、クッキーやサンドイッチ、フルーツなどの食事をふるまってくれました。最後にお礼の意味を含めて研修生を代表して、団長(むっちゃん)と副団長(ひなぼー)が英語であいさつをしました。それに加えて、かいちゃんが歌のプレゼントをしました。英語の挨拶は即席で考えたにもかかわらず二人とも暗記をして、そして歌のプレゼントは自分の特技を活かして、そして残りの子ども達はチームワークを活かしてリズムを取って応援する。やり遂げた後の子ども達の顔からは、最終日に自分たちの今できる精一杯の事ができ満足できたと感じられる瞬間でした。研修期間中、PS校の先生方にもたくさんのサポートを受けました。事務局より感謝の言葉を伝えて、学校訪問を終えました。明日はフォストファミリーと自由時間を過ごす貴重な一日です。悔いのない過ごし方をしてくれるように願っています。



(中) 学校訪問最終日は、パーマストンシニアカレッジでの授業でした。これまでの経験を活かしてし

っかりと前を向き話そう、コミュニケーションを取ろうとする皆さんの姿を見ることができました。まだ中々うちとけられない生徒もいましたが、ホームステイ先では伝えたいことを伝えることができているようです。お別れパーティーでは団長、副団長のすばらしいあいさつと、歌できっちりと学校での研修を終えてくれました。この週末は各々に予定が決まっており、楽しみにしているようで学校とは違う家族とのつながりをさらに深めてほしいです。友だちも多くでき、この研修で英語を学ぶことの楽しさを知ってくれたことと思います！

